

計画の概要

- 1 位置付け : 「「工賃向上計画」を推進するための基本的な指針(国通知)」に基づく、栃木県障害者工賃向上計画(第5期)
- 2 計画期間 : 令和3(2021)年度から令和5(2023)年度までの3か年
- 3 目標工賃 : 令和5(2023)年度: 月額19,000円、時間額253円(詳細は「目標工賃」のとおり)
- 4 対象事業所: 就労継続支援B型事業所(工賃向上計画を策定する就労継続支援A型事業所、生活介護事業所、地域活動支援センターも含む。)

現状と課題

1 現状

- ・B型事業所の平均工賃は月額、時間額とも年々増加している。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、事業所も作業受注や製品販売の落ち込みといった影響を受けており、令和2(2020)年度の目標工賃(月額20,000円)の達成は厳しい見通し。

| 年度 | 平成30年度 2018 | 令和元年度 2019 | 令和2年度 2020 |
|------------|----------------|---------------|---------------|
| 対象事業所数(箇所) | 177 | 193 | - |
| 工賃支払総額(円) | 739,917,211 | 803,795,867 | - |
| 支払対象延人数(人) | 43,656 | 46,417 | - |
| 月額 (円) | 平均工賃実績 | 16,949 | 17,317 |
| | 県の目標工賃 | 18,000 | 19,000 |
| | (実績額との差額) | (▲1,051) | (▲1,683) |
| 時間額 (円) | 平均工賃実績 | 209 | 218 |
| | 県の目標工賃 | 200 | 204 |
| | (実績額との差額) | (+9) | (+14) |

2 課題

- A 工賃向上に向けた意識向上(⇔福祉的就労支援側面への配慮)
- B セルフ商品のさらなる魅力アップ
- C 収益性を見据えた新規分野への進出
- D 受注獲得のための体制強化(共同受注の推進)
- E 地域と連携した販路の拡大、積極的な普及啓発

目標工賃

| 年度 | 令和2年度 2020※見込 | 令和3年度 2021 | 令和4年度 2022 | 令和5年度 2023 | 考え方 |
|--------|------------------|---------------|---------------|---------------|-----------|
| 月額(円) | 17,317 | 18,000 | 18,500 | 19,000 | 対前年2.3%+α |
| 時間額(円) | 226 | 235 | 244 | 253 | 対前年3.8% |

- ・これまでの平均工賃実績の伸び率をベースとし、**国体・障スポ関連の受注需要増を加味**した金額とした。

目標達成に向けた取組

ポイント

- ・国体・障スポを契機とした、障害者施設への受注機会の獲得・拡大
- ・地域と連携したセルフ商品販売機会の開拓、確保を支援

⇒各課題の克服及び目標工賃達成に向けた取組をそれぞれ実施

| 取組主体 | 課題 | 取組(抜粋例) |
|---------|----|---------------------------|
| 県 | B | 専門家を活用した技術支援等の実施 |
| | C | 農福連携の推進(アドバイザー派遣、農福マルシェ) |
| | D | 国体・障スポ関連部署との連携、働きかけ |
| | E | ナイスハートバザールの開催先開拓(道の駅、大学等) |
| | A | 工賃向上計画の策定、進行管理 |
| 事業所 | B | ニーズに即した商品の開発、品質向上 |
| | A | 施設職員向けの研修会、各種調査の企画・実施 |
| セルフセンター | D | 共同受注の推進、企業等からの発注促進 |
| | D | 障害者優先調達への推進 |
| 市町 | D | 障害者優先調達の推進 |
| | E | 障害者週間を契機とした販売会等、住民の理解促進 |